

2. 事業概要

(1) 基本情報

①事業の分野	1.公有財産利活用 2.都市公園 3.観光施設 4.教育・文化関連施設 5.賃貸住宅・宿舎等 6.廃棄物処理施設・斎場 ⑦.インフラ施設（公共海岸（港湾隣接地域・海岸保全区域） 名称は海浜公園ですが、法律に基づく公園として指定されていないことから施設としては「公共海岸」です 8.その他（ ）
②事業の種類	①新設 2.建替え ③改修 ④維持管理・運営 5.その他（ ）
③想定する事業類型	1.サービス購入型 ②収益型 3.混合型 4.その他（ ）
④想定する事業の手法	1.PFI事業（ ）方式 2.DBO方式 3.包括的民間委託 4.指定管理者制度 5.コンセッション 6.Park-PFI 7.土地の賃貸借、8.建物の賃貸借 ⑨.その他（未定）
⑤事業内容	基本構想：ランドスケープによる公園施設と民間収益施設の一体的なデザイン方針策定 公民連携可能性調査：事業手法検討、運営会社担い手発掘 基本計画：デザイン方針に基づく市場調査、実現性検討、投資回収確認 運営会社設立 基本設計・実施設計 工事着手 OPEN
⑥現状及び課題	【現状及び課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然とロケーションから、年間57,000人（うち7-8月17,000人）が訪れている ・これまで、芝生管理や美化清掃を県・市・地元で取り組んできたが、今年度から地元が高齢化を理由に撤退した ・ごみの放置や深夜の花火、大音量の音楽など近隣住民への迷惑行為も発生している 【公民連携事業に期待する事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・上質なサービス提供による観光客が訪れる公園 ・公園の収益化による持続可能な公園経営 ・管理者の常駐による秩序ある公園 【現状の取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・富山ライフセービングクラブによる海水浴場の監視 ・BBQエリアの設定

	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチンカーなどによる物販エリアの設定 ・「ビーチスポーツ」や「ユニバーサルビーチ」のイベント活用
⑦前提条件	<p>公共施設と収益施設は一緒に計画・設計・工事を行います 公共部門の投資は投資回収が可能な事業計画が必要です 設計・工事・運営管理を担う SPC の設立が望ましいと考えています</p>
⑧事業スケジュール (予定)	<p>令和7年度：基本構想・公民連携導入可能性調査 令和8年度：基本計画⇒事業化判断・運営会社設立 (いずれも予算が担保されておらず希望的観測です)</p>
(2) 対象地	
① 所在地(交通情報含む)	富山県射水市海老江(公共交通はありません)
②敷地面積	供用面積 1.9ha、未供用(整備中)
③土地利用上の制約	<p>港湾法、海岸法の位置づけ：港湾隣接地域・海岸保全区域 都市計画：市街化調整区域 土地は未登記</p>
④所有者	富山県
⑤周辺施設等	<p>海浜公園に隣接して「海竜マリンパーク(マリーナ)」「海竜スポーツランド(スポーツ複合施設)」 海浜公園西側 1.5km「オリバースポーツフィールド射水(フットボールセンター)」 海浜公園西側 1.7km「富山新港元気の森公園」「パークゴルフ場」 海浜公園西側 2.5km 日本海側最大級の斜張橋(新湊大橋) 海浜公園西側 4.0km「海王丸パーク」初代練習帆船海王丸が係留 海浜公園西側 5.0km「新湊きとときと市場(食事、お土産)」</p>
⑥対象地周辺の環境	射水市臨海部の特色を生かしたまちづくりエリア「射水ベイエリア」
⑦その他	<p>【公共施設の整備】 投資回収の視点で、エリアの価値向上による税収の増加やランニングコストの削減を基本計画の中で確認できれば、公共部門による整備が可能と考えています。</p> <p>【事業スキーム及びストラクチャー】 基本構想をランドスケープデザインにより作成したうえで、どこまで規制緩和ができるのかを一つ一つ整理することで決定したいと考えています。</p>

- 添付資料
- 公園概要